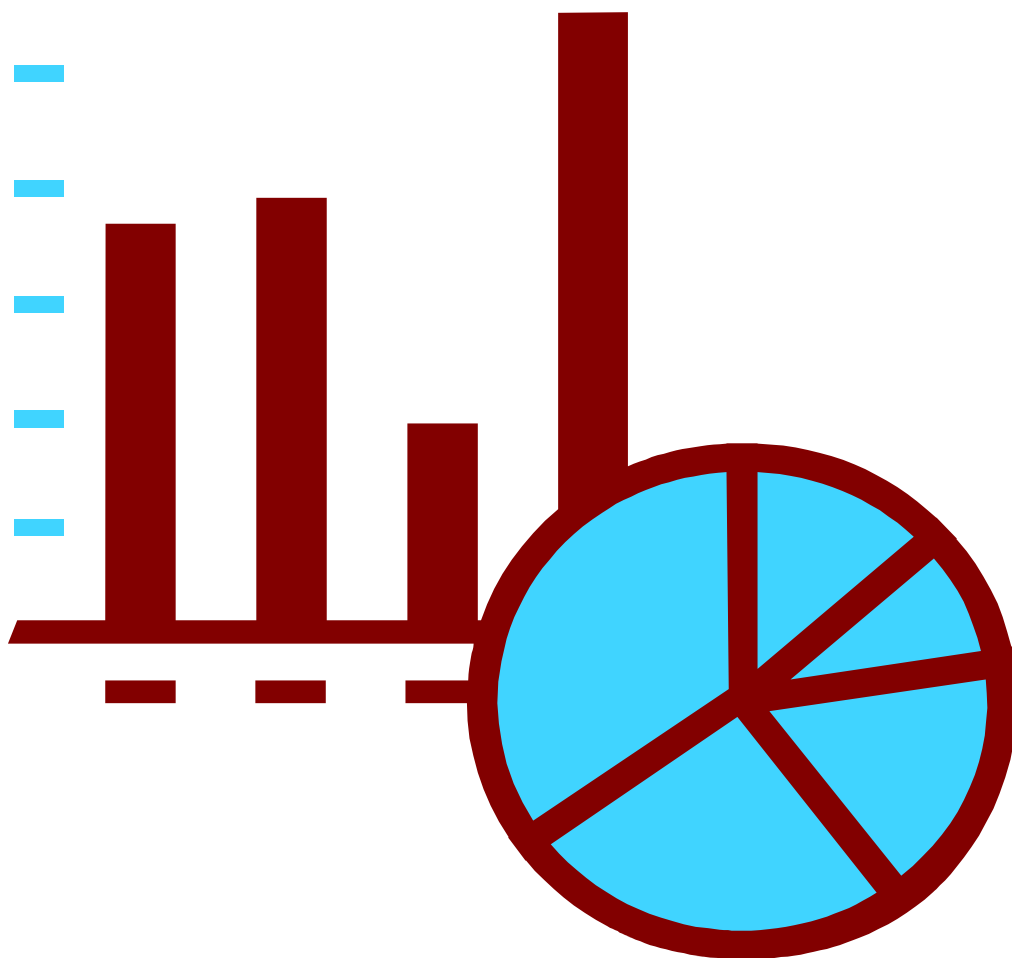


グラフで見る

釧路市の財政

(平成20年度決算)



平成21年12月

釧路市

はじめに

この「釧路市の財政」は、釧路市の歳入・歳出等の状況をグラフを使って経年的に表すことにより、市民の皆様に釧路市の財政状況を出来るだけわかりやすくお知らせするために作成いたしました。

本資料を通じて、釧路市の財政について、一人でも多くの市民の皆様にご理解をいただき、ご意見をいただきながら今後の財政運営に役立ててまいりたいと考えております。

平成20年度の決算状況	1
1 決算の状況	1
2 決算規模の推移	1
歳入	2
1 歳入の内訳	2
2 歳入内訳の推移	3
3 市税	4
4 市税決算額の推移	5
5 地方交付税	6
歳出	7
1 目的別歳出	7
2 目的別決算額の推移	8
3 性質別歳出	9
4 性質別決算額の推移	10
財政の弾力性	11
1 経常収支比率	11
2 起債制限比率	12
地方債の残高	13
1 地方債現在高の推移	13
基金の残高	14
1 基金残高の推移	14
財政の健全化	15
1 財政健全化法	15
2 財政の状況を示す指標	16
3 特別会計・企業会計の決算状況	17

※ 各表の数値は、総務省の地方財政状況調査（決算統計）による普通会計決算数値により調製しています。

平成20年度の決算状況

釧路市の平成20年度の決算の状況はどのようになっているのでしょうか？

1. 決算の状況

釧路市の平成20年度決算は、単年度収支、実質単年度収支ともに黒字になっています。

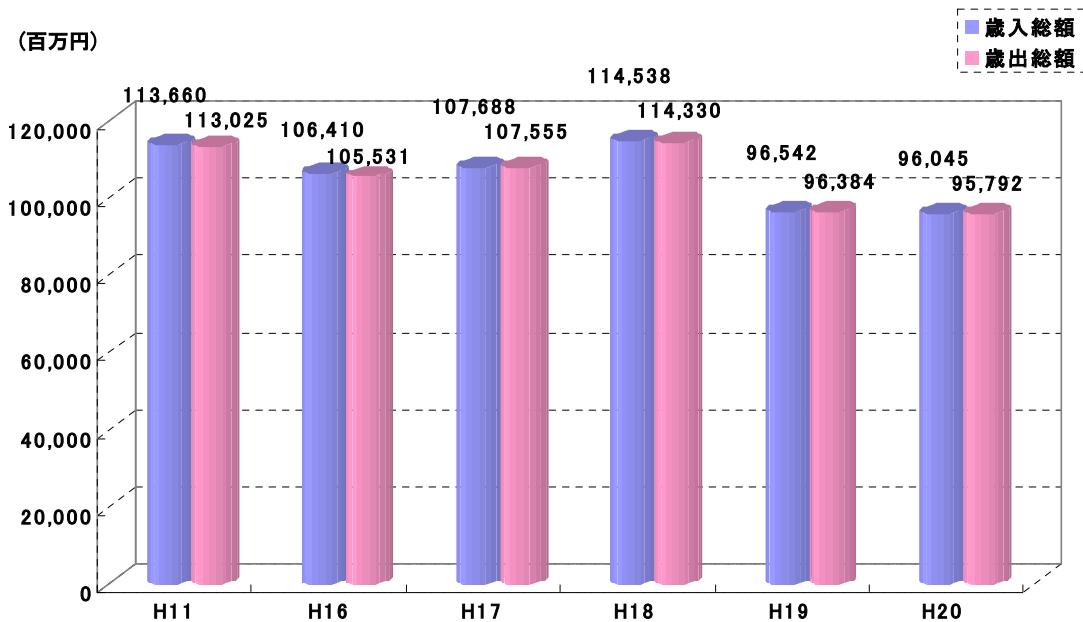
区分	平成19年度決算額	平成20年度決算額
歳入総額	96,541,741 千円	96,045,405 千円
歳出総額	96,383,840 千円	95,792,264 千円
歳入歳出差引額	157,901 千円	253,141 千円
実質収支	130,222 千円	190,089 千円
単年度収支	△ 26,301 千円	59,867 千円
実質単年度収支	△ 26,301 千円	60,284 千円

- ☆ 実質収支…歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた額。
- ☆ 単年度収支…当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額。
- ☆ 実質単年度収支…単年度収支に、財政調整基金への積立額及び地方債の繰上償還額を加え、財政調整基金の取崩し額を差し引いた額。

決算の規模はどのようになっているのでしょうか？

2. 決算規模の推移

決算の規模は、歳入における地方債等の減少、歳出における人件費及び普通建設事業費等の減少により、歳入、歳出ともに2年連続で減少しています。



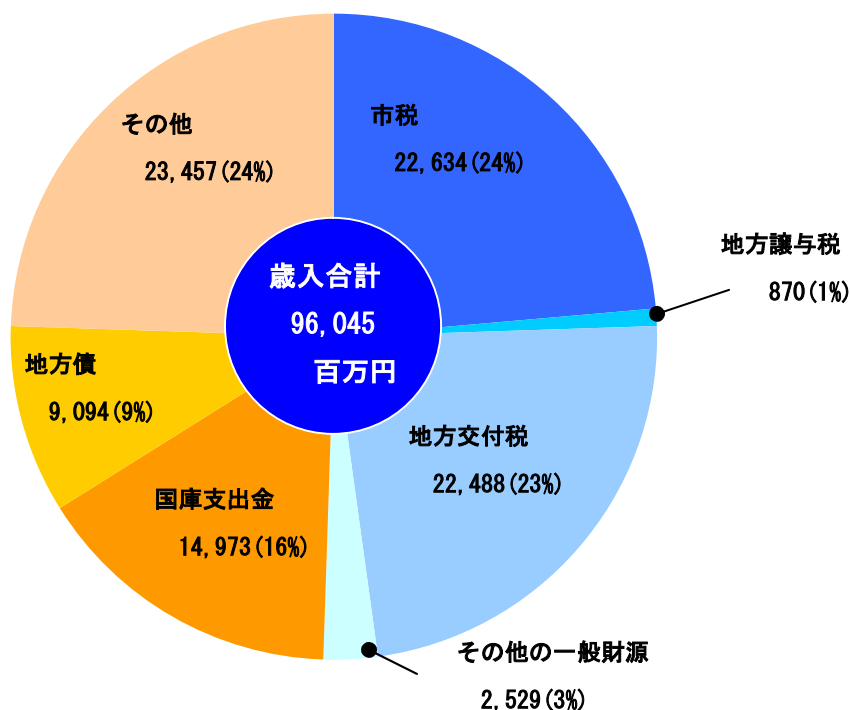
歳入

市民の皆さんが日常生活を送るためにはお金が必要なように、市役所が行政活動（仕事）を行うにも、当然お金が必要となります。それではそのお金はどこから来るのでしょうか？

1. 歳入の内訳

市の歳入（収入）の内訳は、下記のようになっています。市民の皆様から納めていただいている市税収入と国から交付される地方交付税の占める割合が高く、次いで国庫支出金、地方債の順になっています。

歳入の内訳（平成20年度決算）



- ☆ 一般財源…市税や地方交付税のように、使い道が特定されていない財源を一般財源と呼んでいます。
- ☆ 地方譲与税…国の税金として集められ、地方公共団体に譲与される税。
- ☆ 地方交付税…国税5税の一定割合の額で、地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行することができるよう、一定の基準により国が交付するもの。
- ☆ 国庫支出金…国が使い道を特定して地方公共団体に交付する資金の総称。
- ☆ 地方債…いわゆる借入金で、その返済が一会計年度を超えて行われるもの。

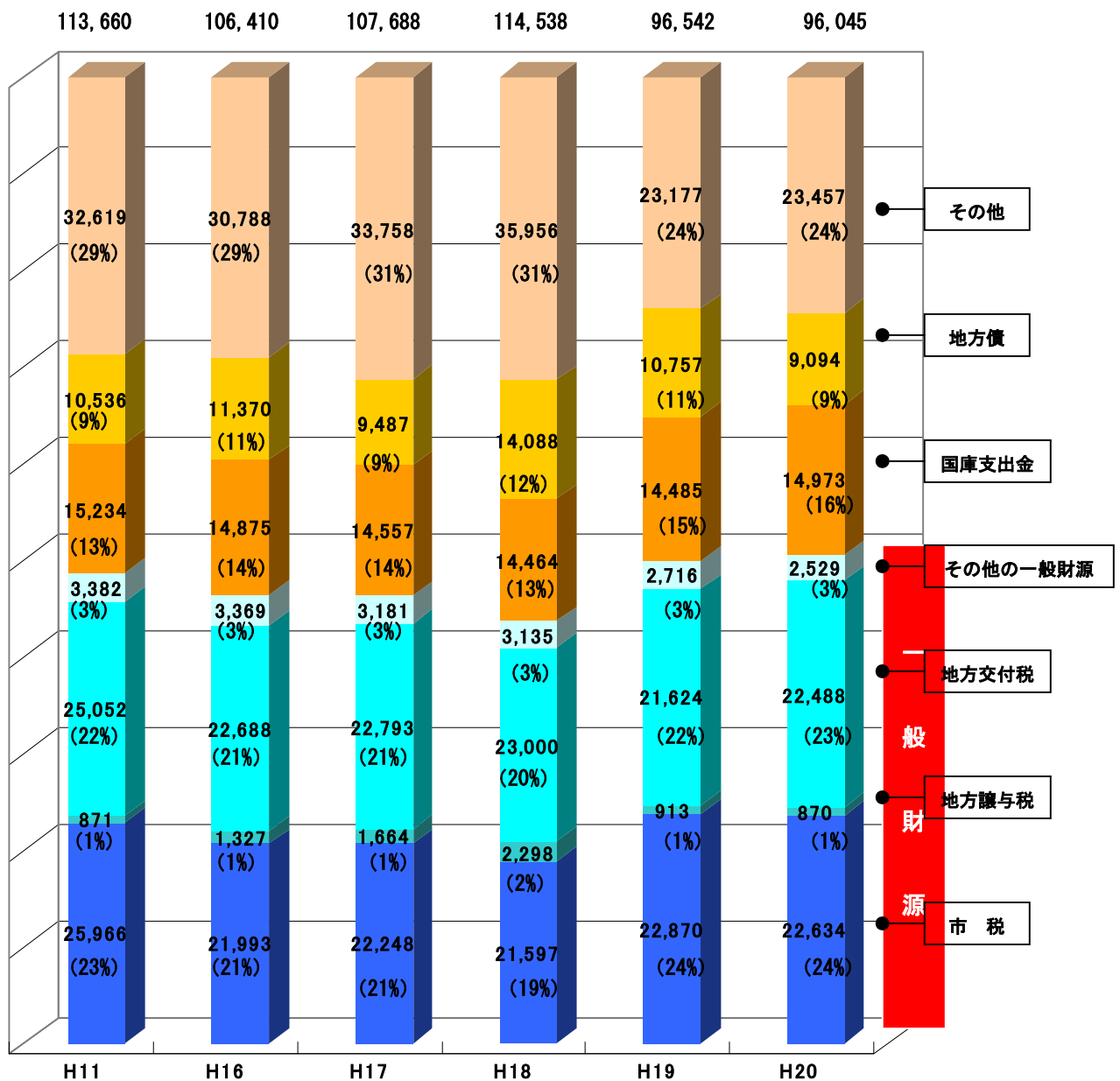
2. 歳入内訳の推移

近年、景気の低迷による市税収入の減や、国から交付される地方交付税等の減で、市が使いみちを限定されず、自由に使えるお金（一般財源）が減少してきています。

11年度には553億円ありましたが、20年度では約485億円となり、約68億円も減少したことになります。

19年度以降、市税収入が増えているのは、国からの税源移譲により、地方譲与税で交付されていたものが、市税に移ったことなどによるものであります。

（単位：百万円，％）

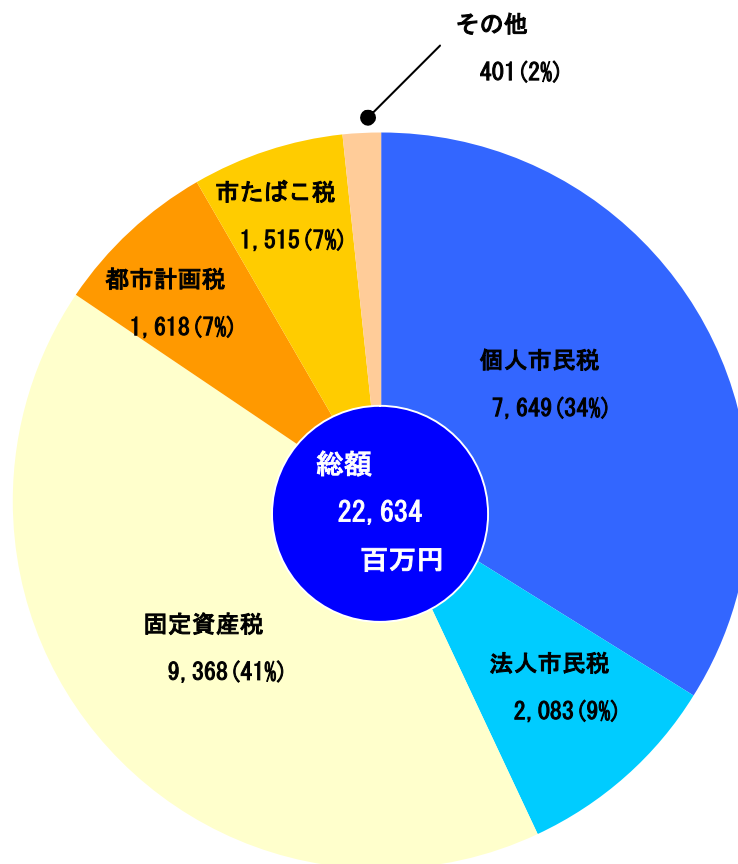


3. 市税

市の歳入の中心である市税収入の内訳は下記のようになっています。

土地や家屋にかかる固定資産税が市税収入全体の約4割を占め、続いて個人市民税、法人市民税の順になっています。

市税収入の内訳（平成20年度決算）

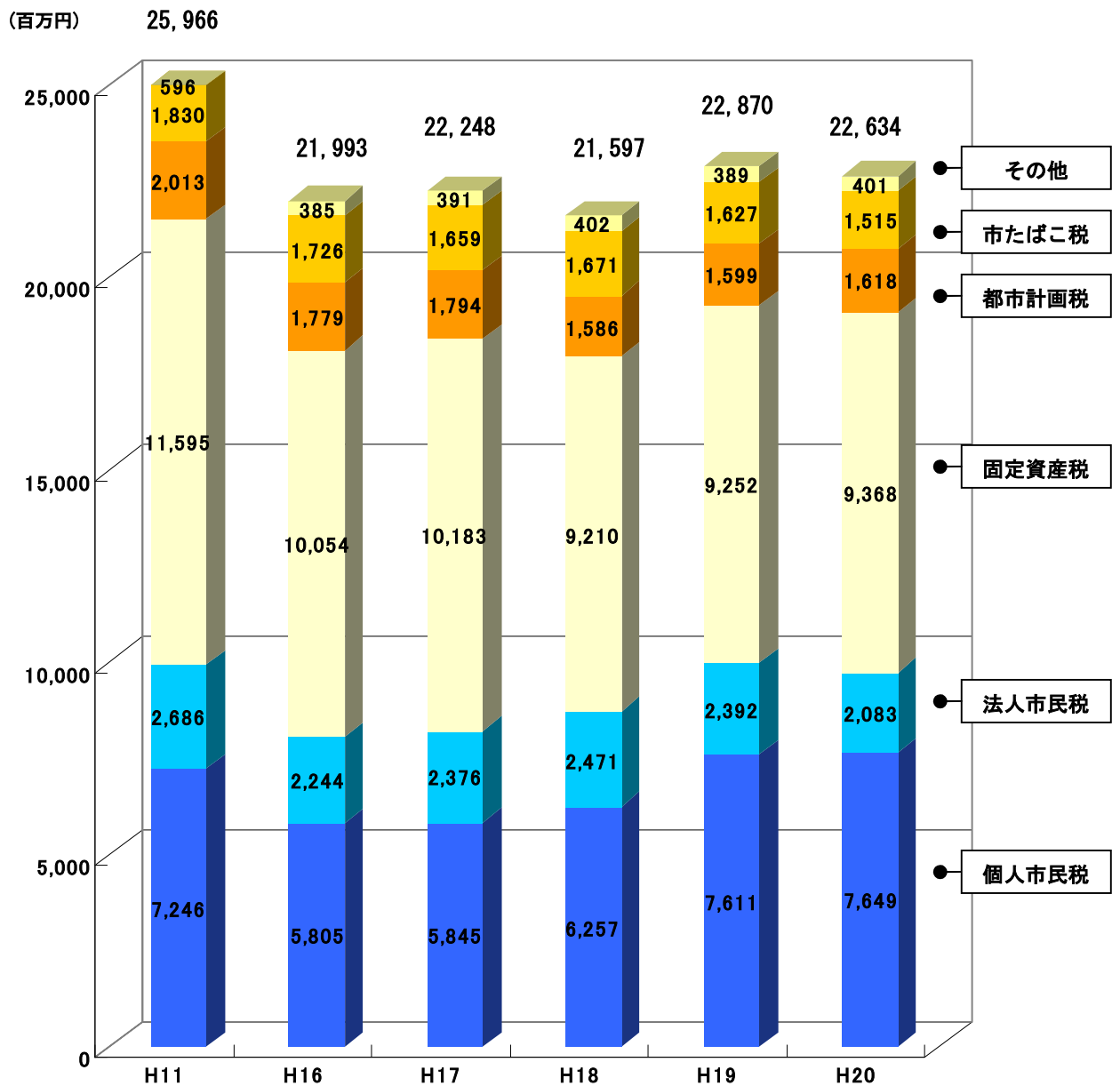


- ☆ 個人市民税…個人の前年の所得に対してかかる税です。
- ☆ 法人市民税…法人（会社など）に対し、その所得に基づいてかかる税です。
- ☆ 固定資産税…土地・家屋及び償却資産（事業用の機械・器具・備品など）に対してかかる税です。
- ☆ 都市計画税…市街化区域内の土地や家屋に対してかかる税で、都市計画事業や、土地区画整理事業の費用にあてられます。
- ☆ 市たばこ税…市内で売られるたばこに対してかかる税です。
- ☆ その他…軽自動車税、鉱産税、入湯税などがあります。

4. 市税決算額の推移

個人市民税は所得の伸び悩みなどにより減少傾向にありましたが、18年度に国から地方への税源移譲があったことなどにより増加しています。また、法人市民税は企業収益の悪化などにより、減少しています。固定資産税や都市計画税は、地価の下落を反映して、評価替えの影響などにより減少傾向にあります。

市税決算額の推移

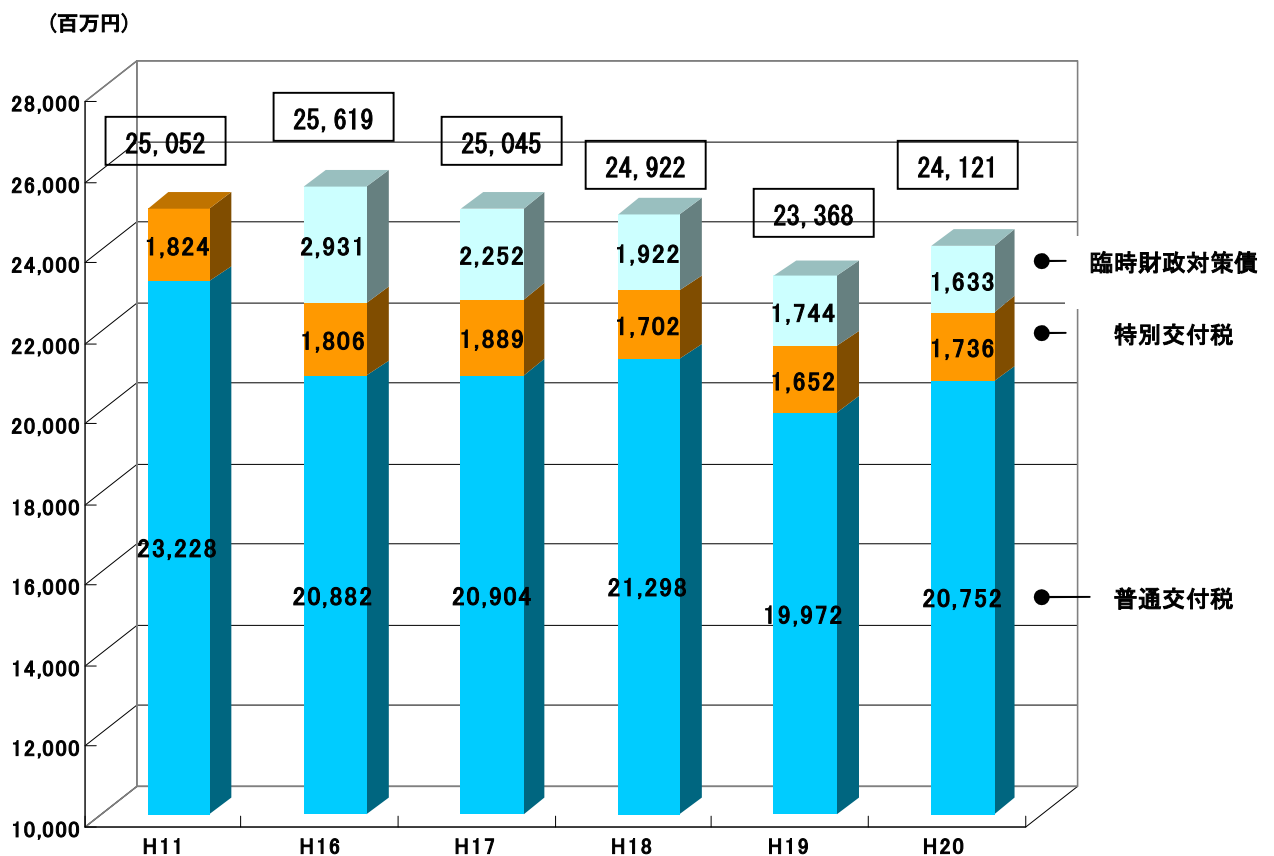


5. 地方交付税

地方交付税は市税と並んで市の収入全体の約4分の1を占める重要な財源ですが、国の改革の影響などもあり、減少傾向が続いておりましたが、20年度では前年度より増加しております。

なお、13年度から普通交付税の一部が臨時財政対策債（借入金）に振り替えられているため、地方交付税に含めて下記のグラフにのせています。

地方交付税等の推移



- ☆ 特別交付税…地方交付税の一部で、普通交付税ではとらえることが出来なかった特別の財政需要（大災害など）があった場合などに交付されます。
- ☆ 臨時財政対策債…地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第5条の特例として発行される地方債で、地方交付税制度を通じて標準的に保障されるべき地方一般財源の規模を示す各地方公共団体の基準財政需要額を基本に、団体ごとに発行可能額が算出されます。

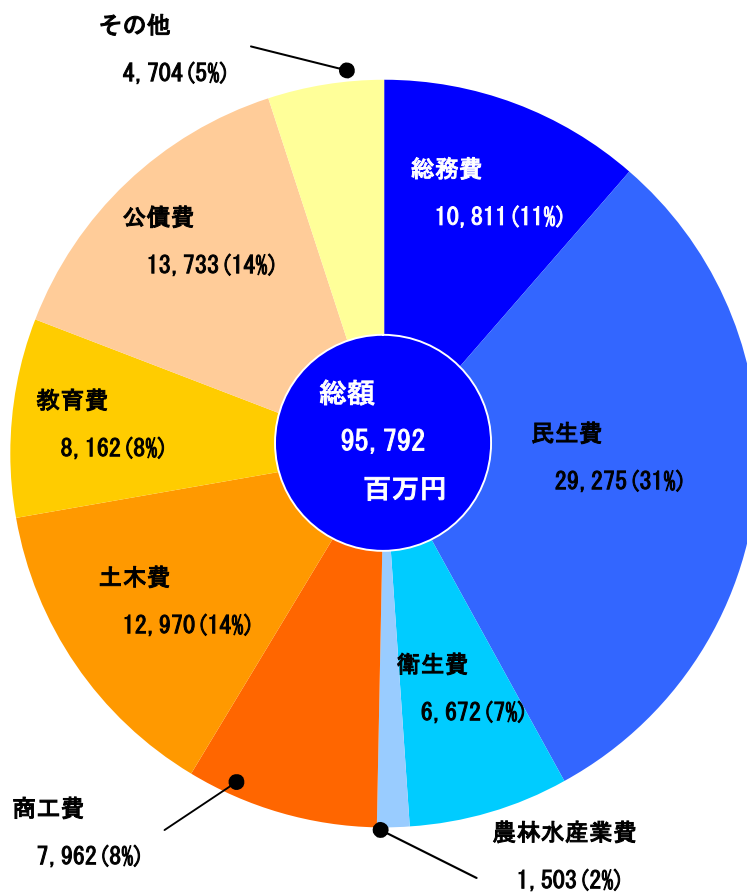
歳 出

市役所はお金をどのようなことに使っているのでしょうか？

1. 目的別歳出

使われたお金を行政の目的別に分類すると、最も大きな割合を占めるのが民生費で、ついで、公債費、土木費、総務費などの順になっています。

目的別歳出の内訳（平成20年度決算）

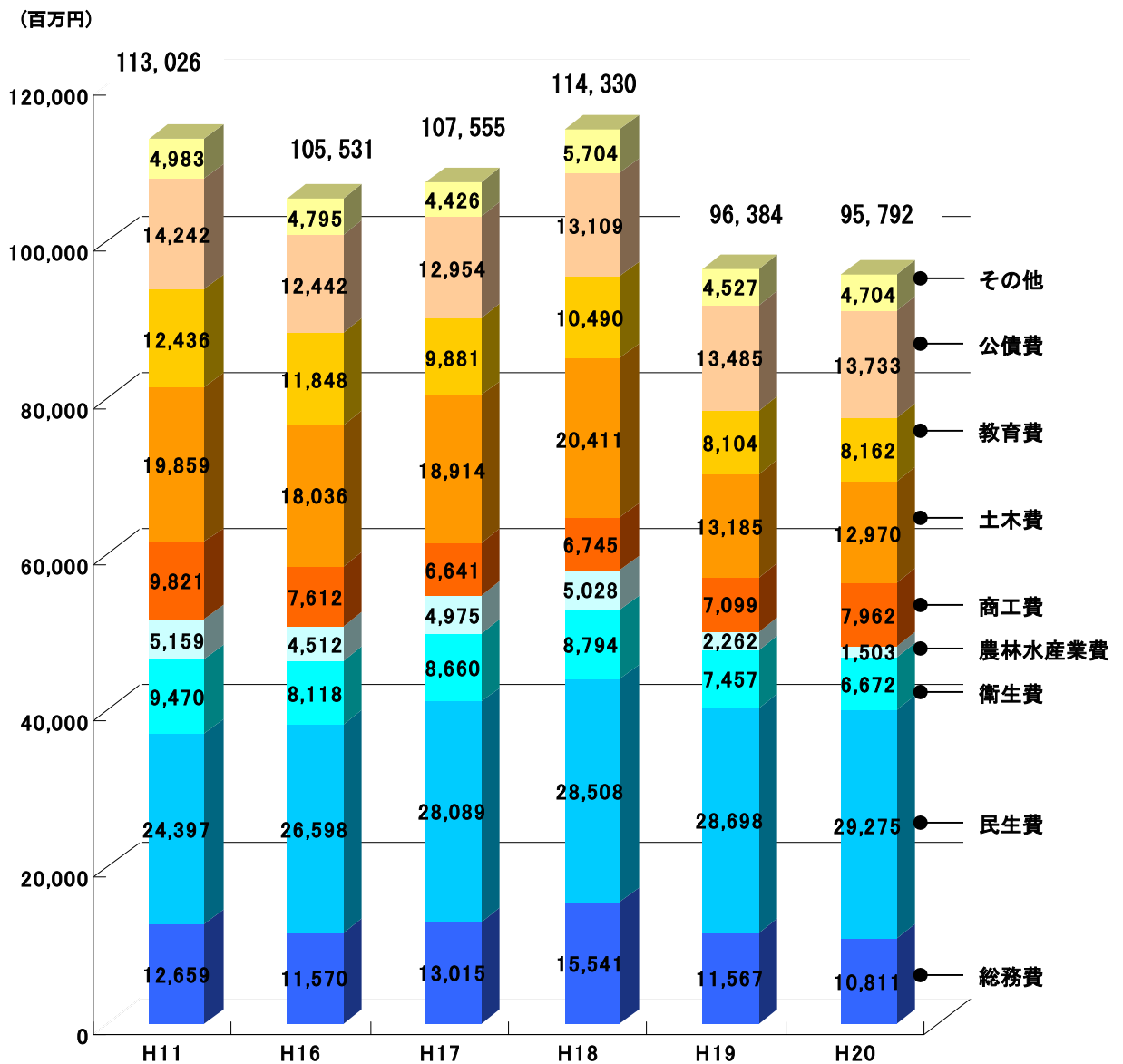


- ☆ 総務費…庁舎や財産の維持管理、戸籍の管理、税金の徴収などにかかる経費。
- ☆ 民生費…児童、高齢者、心身障害者等のための施設整備や運営、生活保護の実施などにかかる経費。
- ☆ 衛生費…健康増進、病気の予防、環境保全、ごみの処理などにかかる経費。
- ☆ 商工費…商業や工業、観光の振興などにかかる経費。
- ☆ 農林水産業費…農林水産業の振興を図るための支援や基盤整備などにかかる経費。
- ☆ 土木費…道路、住宅、公園などの土木施設の建設や維持補修等にかかる経費。
- ☆ 教育費…小・中学校などの建設や学校教育、生涯学習などにかかる経費。
- ☆ 公債費…借入金の元金・利子などを支払うための経費。

2. 目的別歳出決算額の推移

前年度と比較して総務費は地域振興基金積立金の減などにより、衛生費は夜間急病センターの整備費の減などにより、農林水産業費は公社営畜産担い手育成総合整備事業費の減などにより減少しています。また、民生費は扶助費の増などにより、商工費は新産業創造等事業補助金の増などにより増加しています。

目的別歳出決算額の推移

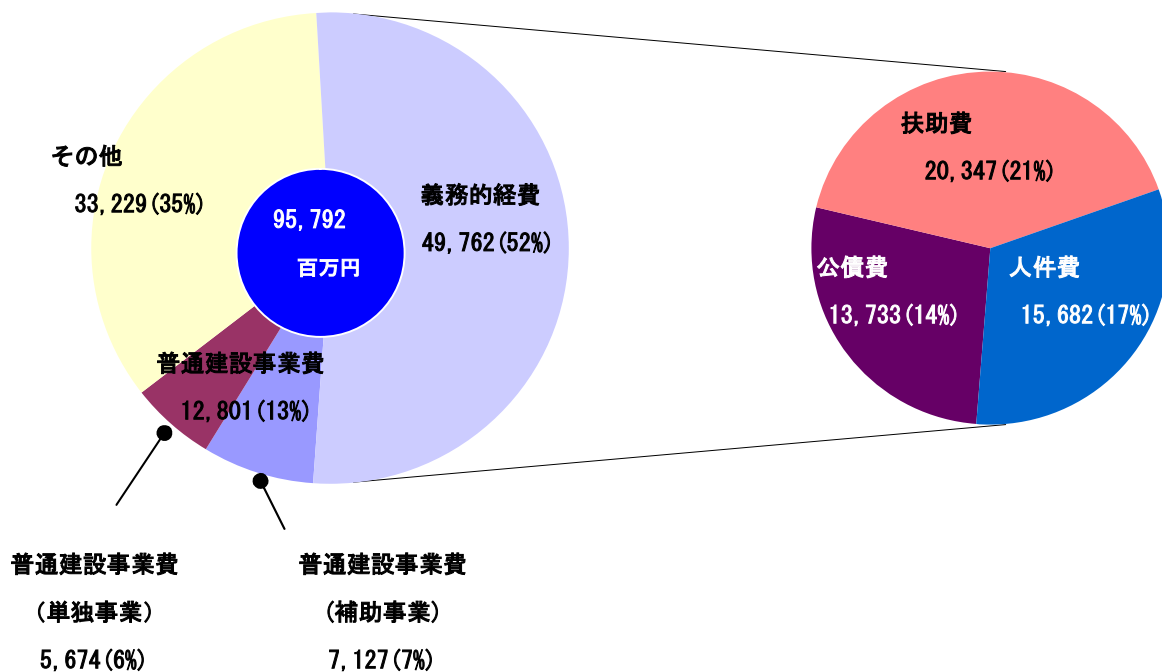


3. 性質別歳出

使われたお金を性質別に分類すると、支出が義務づけられ、任意に削減することが難しい人件費、扶助費、公債費などの「義務的経費」と、普通建設事業費などにあてられる「投資的経費」、「その他の経費」に分けることができます。義務的経費が増加すると自由に使えるお金が少なくなるということになりますが、平成20年度の決算では全体の約5割を占めています。

性質別歳出の内訳（平成20年度決算）

義務的経費の内訳

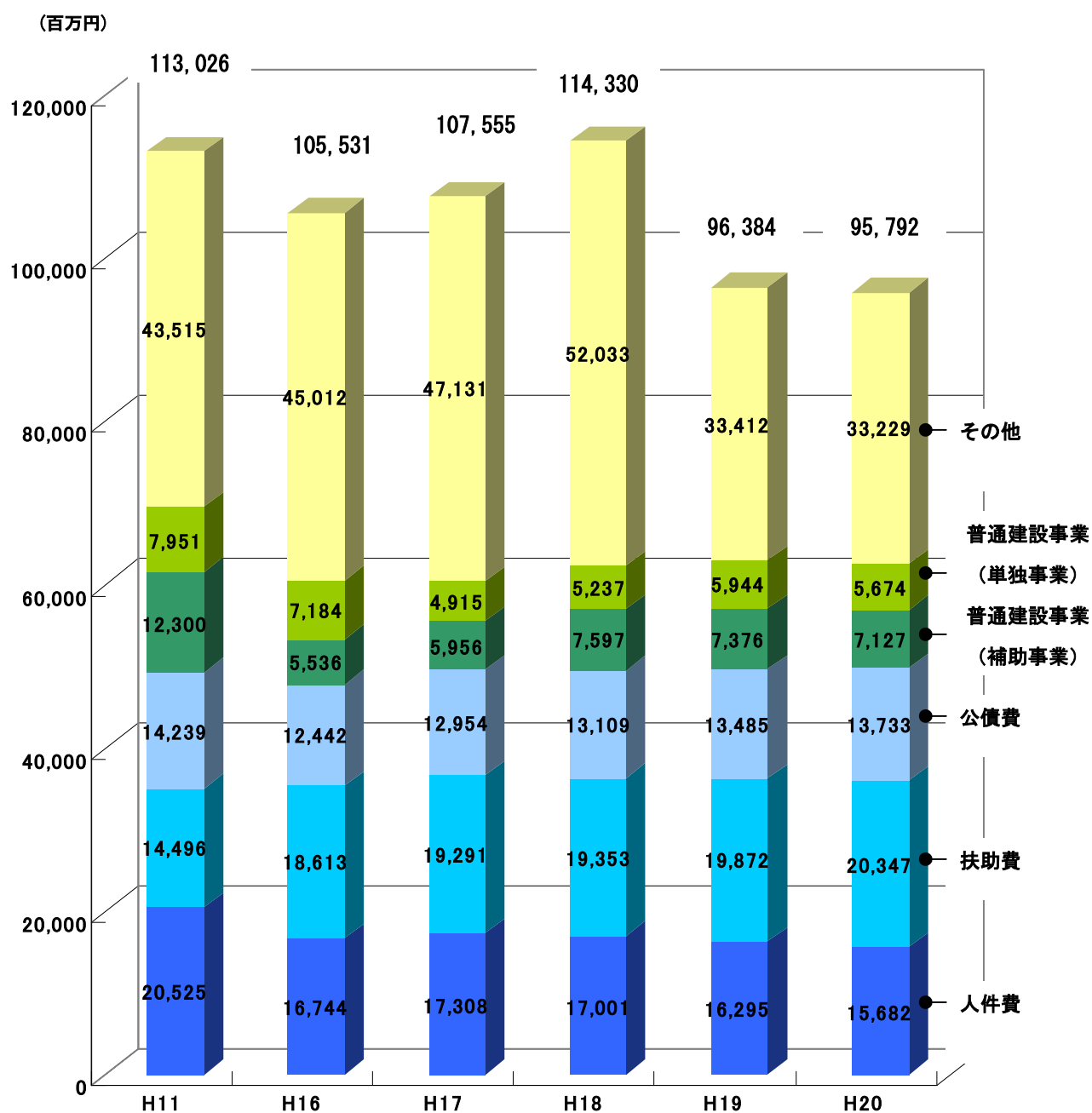


- ☆ 人件費…職員の給与などの支払いにかかる経費。
- ☆ 扶助費…生活保護費や児童・高齢者や障害者などに対する様々な福祉サービスに要する経費。
- ☆ 公債費…借入金の元金・利子などを支払うための経費。
- ☆ 普通建設事業費…道路、橋梁、公園、学校等の社会資本の整備に要する経費。国から補助金などをもって実施する補助事業と市単独で行う、単独事業などがあります。

4. 性質別歳出決算額の推移

人件費は職員定数の削減や給料の独自削減などにより減少傾向にあります。扶助費が増加しているのは、生活保護費の増などによるものであります。

性質別歳出決算額の推移



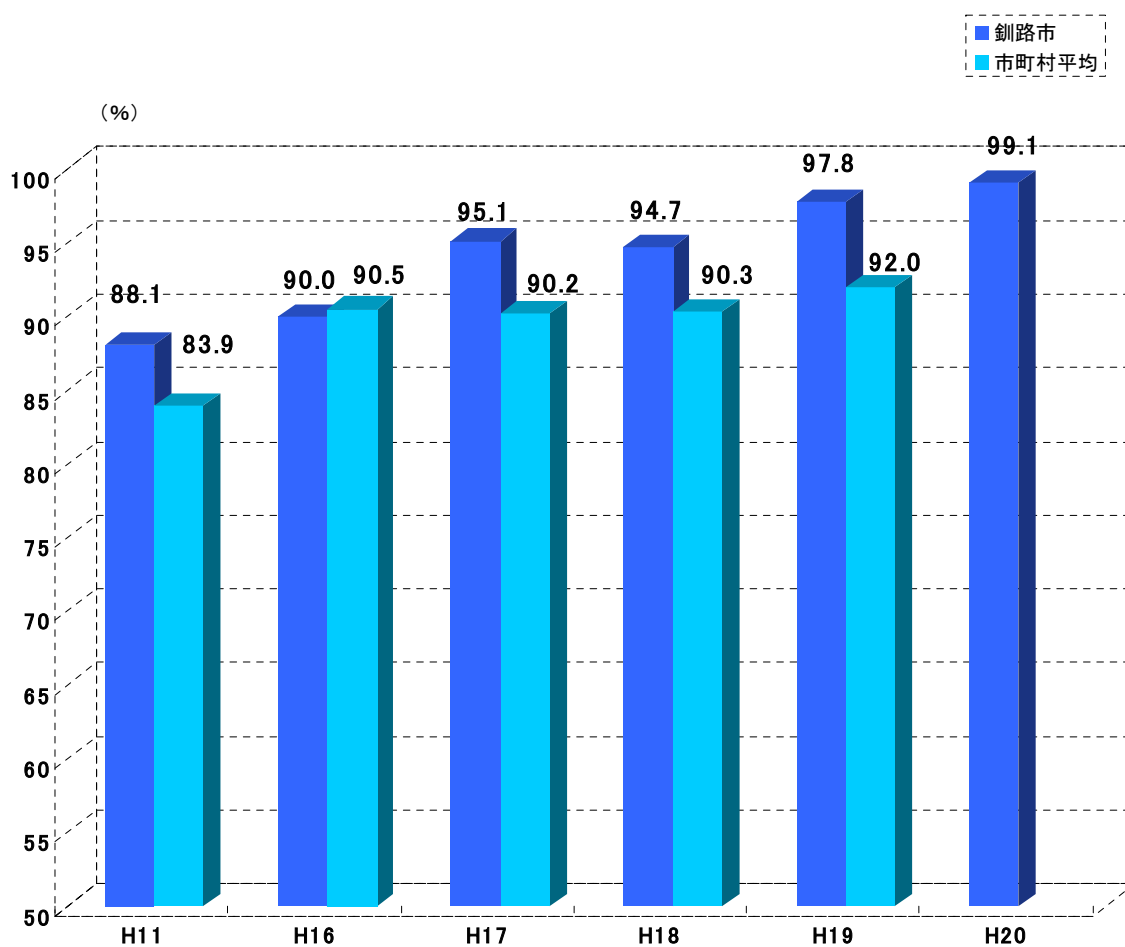
財政の弾力性

自由に使えるお金が多くあることを、財政の弾力性があるといいます。市の財政の弾力性はどうかになっているのでしょうか？

1. 経常収支比率

財政の弾力性を示す指数のひとつであります経常収支比率は、経常的に支出される経費に充てられた一般財源の額が増加したことなどにより、前年度よりも上昇しています。

経常収支比率の推移



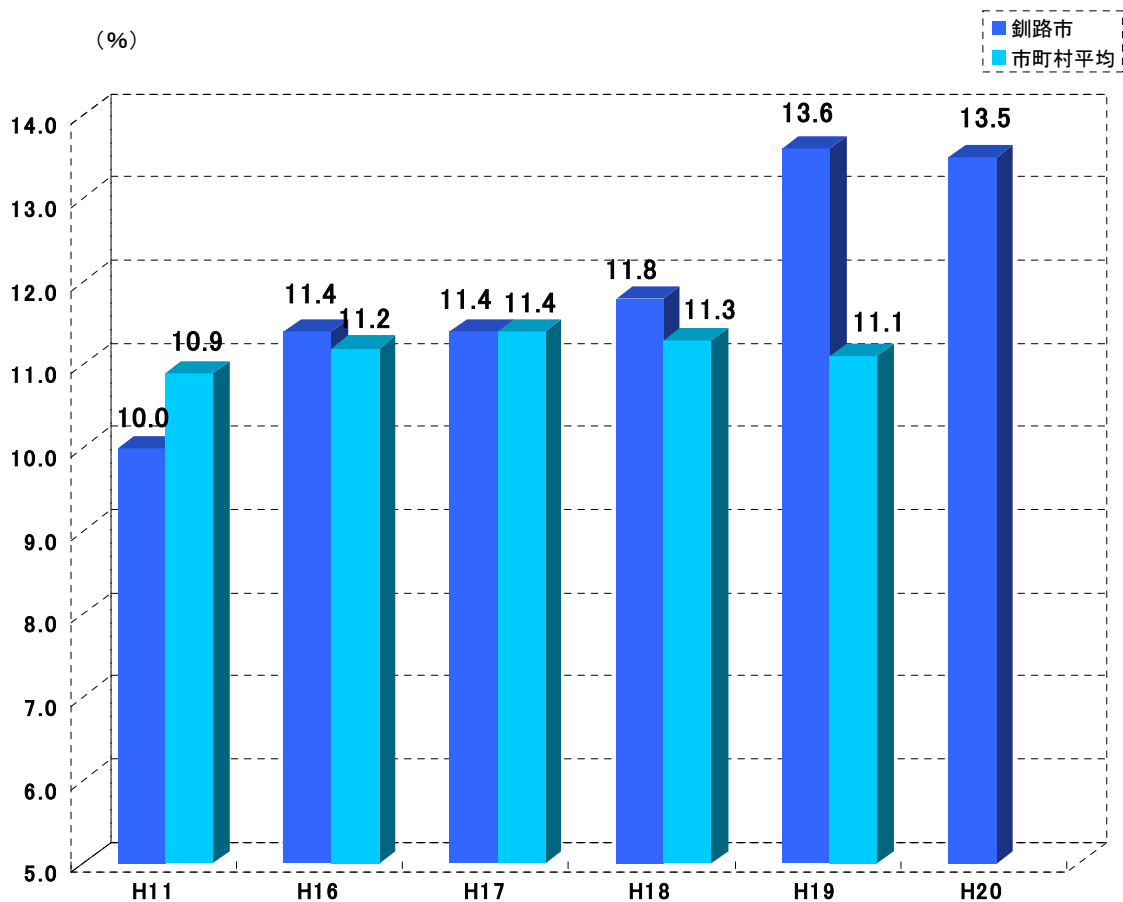
☆ 経常収支比率…毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源の額が、市税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源の合計額に占める割合。財政構造の弾力性を測定する比率として使われ、低いほうがより弾力があることとなります。

(注1) 平成20年度の市町村平均は、現在、国で集計中のため記載しておりません。

2. 起債制限比率

起債制限比率は、公債費（借入の返済額）の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示しています。20年度は、公債費に充当された一般財源が減少したことなどにより、前年度よりも低下しています。

起債制限比率の推移



☆ 起債制限比率…起債制限比率は、地方債元利償還金から繰上償還された額を除き、さらにこれに充当された一般財源のうち地方交付税が措置されたものを除いたものが標準財政規模（地方交付税措置分を控除）及び臨時財政対策債発行可能額の合計額に対してどの程度の割合になっているかをみるものです。この指標は地方債の許可の制限に用いられており、この比率が20%以上の団体に対して、原則として、一般単独事業などに係る地方債の発行が制限されます。

（注1）平成13年度から平成16年度までは旧3市町の平均値で掲載しております。

（注2）平成20年度の市町村平均は、現在、国で集計中のため記載しておりません。

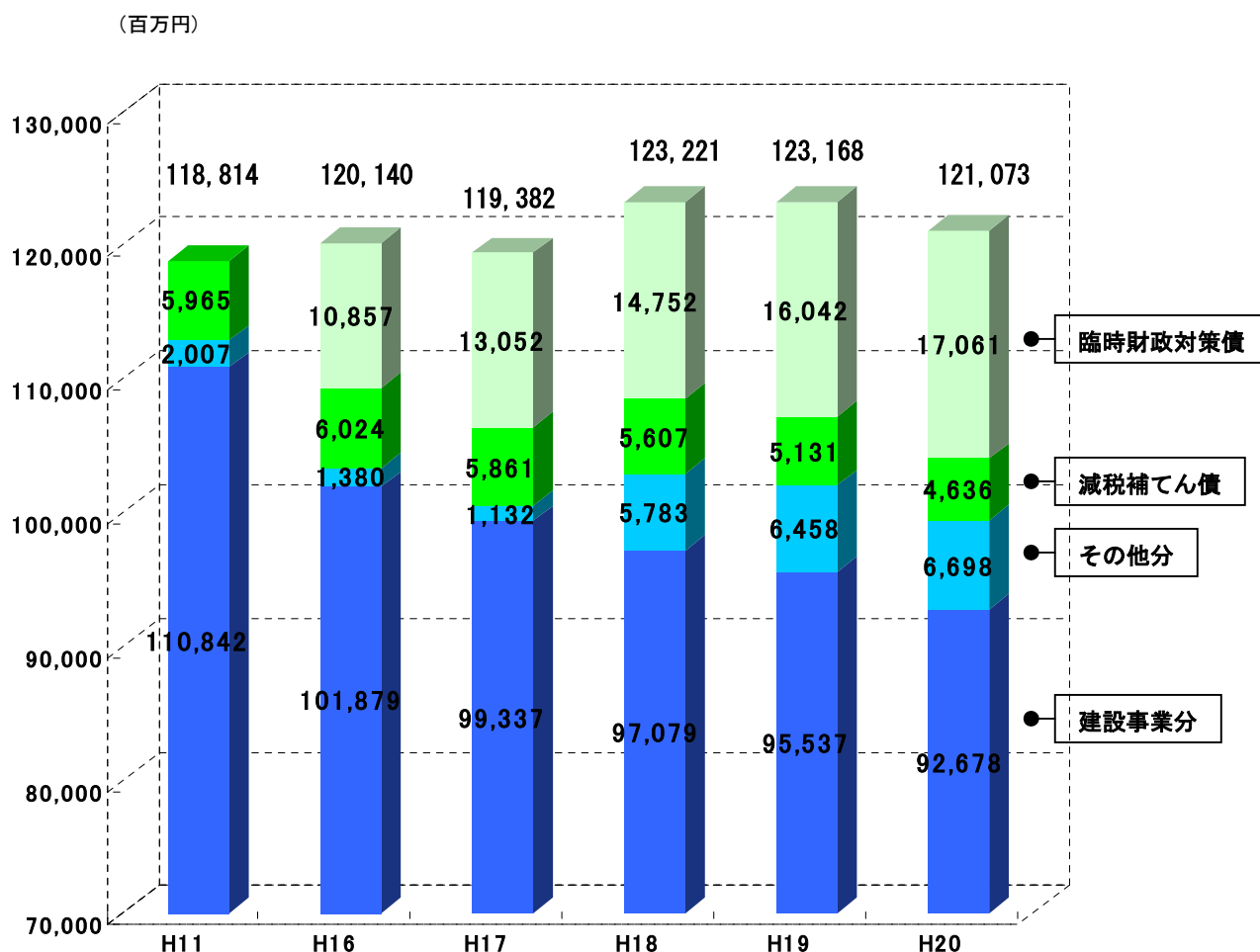
地方債の残高

市の借入金はどうなっているのでしょうか？

1. 地方債現在高の推移

市の借入金である地方債の現在高は、下記のとおりとなっています。近年、建設事業に充てるために借入れた地方債の残高は「元金を返す以上に借りない」という方針のもと発行の抑制に努めているため減少傾向にあります。一方で国の制度により、交付税の一部から振り替えられた臨時財政対策債などの発行により、一般財源振替分の地方債の残高が増加傾向にあります。

地方債現在高の推移



(注1) その他分には退職手当債などが含まれています。

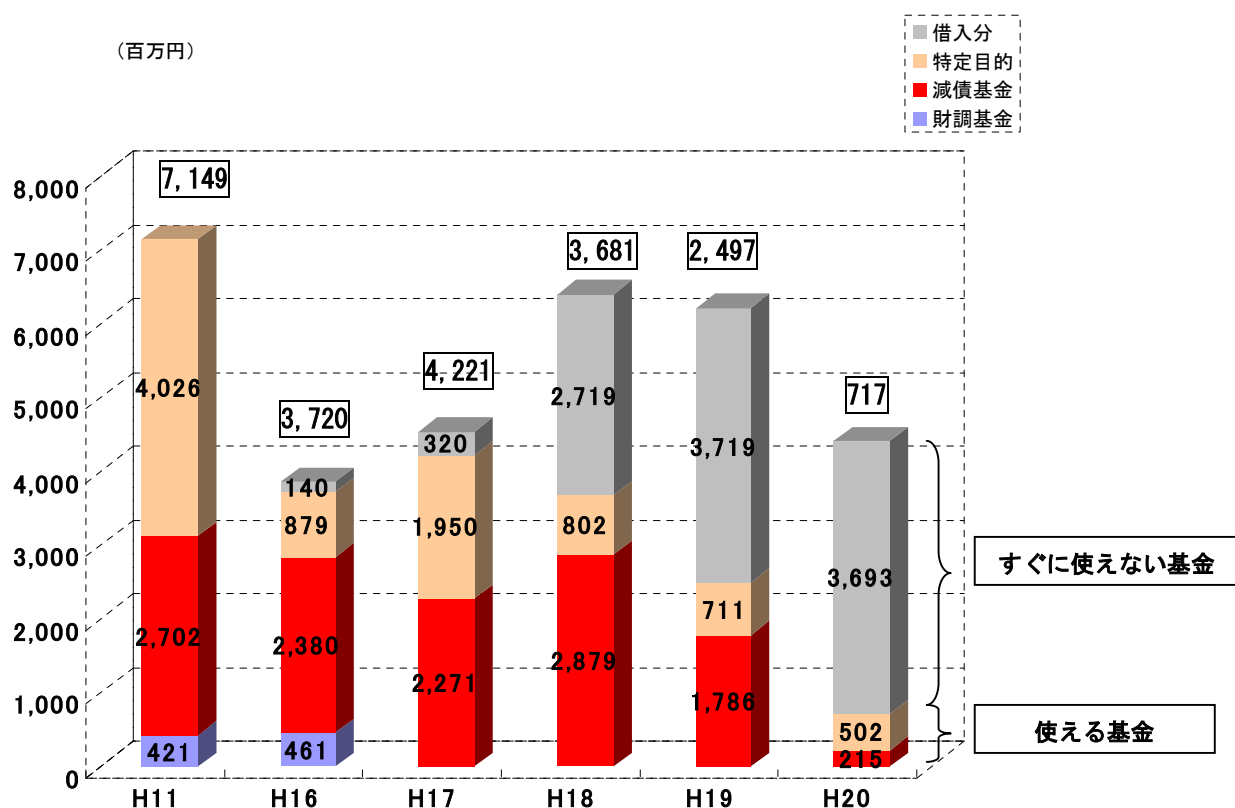
基金の残高

市の貯金はどうなっているのでしょうか？

1. 基金残高の推移

基金とは市の貯金にあたるものです。減債基金は財源手当として活用したため、前年度と比較して減少しています。また、特定目的基金の中には財源対策として市が借り入れているものがあるため、すぐに使えるお金は減少しています。

基金残高の推移



※四角で囲った数字は使える基金の残高です。

- ☆ 基金…地方公共団体が、条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を運用するために設けられる資金又は財産のことをいいます。
- ☆ 減債基金…地方債の償還のために設けられた基金のことをいいます。
- ☆ 特定目的基金…特定の目的のために資金を積み立て活用する貯金のことをいいます。
- ☆ 財政調整基金…地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金のことをいいます。

財政の健全化

市の財政の健全性はどうなっているのでしょうか？

1. 財政健全化法

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行に伴い、毎年度、決算に基づく財政の健全性を示す指標（健全化判断比率及び資金不足比率）を監査委員の審査を受けた上で、その意見を付けて議会に報告するとともに、公表することになりました。なお、健全化判断比率等が基準以上となった場合には、健全化計画の策定が義務付けられています。

健全化判断比率は、（１）実質赤字比率、（２）連結実質赤字比率、（３）実質公債費比率、（４）将来負担比率の４つの指標があり、それぞれに早期健全化基準と財政再生基準があります（（４）は財政再生基準なし）。

（１）～（４）のどれか１つでも早期健全化基準以上となると、自主的な改善努力による財政の健全化を図るため、「財政健全化計画」を策定し、議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、都道府県知事に報告をしなければなりません。

また、同じく財政再生基準以上となると、国等の関与による確実な財政の再生を図るため、「財政再生計画」を策定し、議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、総務大臣に報告をしなければなりません。

資金不足比率は、公営企業会計ごとに算定し、経営健全化基準以上になると、公営企業の経営健全化を図るため、「経営健全化計画」を策定し、議会の議決を経て定め、速やかに公表するとともに、都道府県知事に報告をしなければなりません。

釧路市の平成２０年度決算における健全化判断比率は、すべて基準を下回っていますが、一部の企業会計（公設地方卸売市場事業会計・市設魚揚場事業会計）において経営健全化基準を上回っていることから、平成２１年度末までに「経営健全化計画」を策定し、それぞれの企業会計が独自に経営健全化に取り組むとともに、一般会計からも一定の支援を行いながら、市をあげて財政の健全化に努めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

2. 財政の状況を示す指標

※各数値の（ ）書きは、前年度数値。

①健全化判断比率

(単位：%)

	平成 20 年度数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	11.30	20.00
連結実質赤字比率	5.08 (7.41)	16.30	40.00
実質公債費比率	14.5 (14.7)	25.0	35.0
将来負担比率	211.8 (224.8)	350.0	

②資金不足比率

(単位：%)

会 計 名	平成 20 年度数値	経営健全化基準
病院事業	13.0 (18.4)	20.0
水道事業	- (-)	
工業用水道事業	- (-)	
下水道事業	- (-)	
公設地方卸売市場事業	450.3 (543.8)	
市設魚揚場事業	2,933.9 (3,055.3)	
港湾整備事業	- (-)	

③将来負担比率における将来負担額の状況

(単位：千円)

項	目	負 担 額
一般会計等の前年度末における地方債現在高		121,228,515 (123,358,154)
債務負担行為に基づく支出予定額		3,062,670 (3,564,915)
公営企業債等繰入見込額		27,391,082 (30,819,076)
組合等負担等見込額		3,765,303 (4,002,623)
退職手当負担見込額		18,925,446 (19,792,465)
連結実質赤字額		2,410,936 (3,503,341)
設立法人の負債額等のうち一般会計等の負担見込額		15,398,274 (15,865,227)
内 訳	土地開発公社	3,462,728 (3,389,806)
	釧路振興公社	11,881,000 (12,407,000)
	釧路河畔開発公社	42,857 (54,643)
	北斗霊園	11,200 (12,800)
	災害援護資金融資斡旋	489 (978)

なお、財政健全化判断比率等について詳しくお知りになりたい方は、釧路市のホームページをご覧ください。

3. 特別会計・企業会計の決算状況

特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引	
国民健康保険	19,195,313	19,155,287	40,026	
音別診療所事業	337,145	337,144	1	
老人保健	1,878,541	1,827,300	51,241	
後期高齢者医療	1,630,546	1,600,181	30,365	
介護保険	保健事業勘定	9,713,004	9,572,980	140,024
	サービス事業勘定	115,734	101,644	14,090
音別歯科診療所事業	32,000	30,604	1,396	
駐車場事業	218,039	218,039	0	
動物園事業	400,549	400,487	62	

企業会計

(単位：千円)

会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額	不良債務
病院	収益的	16,386,317	16,095,106	291,211	1,976,680
	資本的	757,047	1,789,692	△1,032,645	
水道	収益的	4,403,314	3,882,664	520,650	—
	資本的	3,058,749	4,714,845	△1,656,096	
工業用水道	収益的	74,037	58,815	15,222	—
	資本的	56,083	109,876	△53,793	
下水道	収益的	6,325,081	5,122,509	1,202,572	7,655,285
	資本的	6,391,887	9,963,769	△3,571,882	
地方卸売市場	収益的	127,792	80,972	46,820	268,156
	資本的	16,000	16,000	0	
市設魚揚場	収益的	404,800	266,020	138,780	2,913,900
	資本的	—	35,623	△35,623	
港湾整備	収益的	1,094,321	735,677	358,644	—
	資本的	941,391	1,641,805	△700,414	

グラフで見る

釧路市の財政

釧路市企画財政部財政課財政担当

〒085-8505 北海道釧路市黒金町7丁目5番地

直通電話 (0154) 31-4512

E-mail: ku120101@city.kushiro.hokkaido.jp